

平成30年度 大阪府立 大冠 高等学校 第3回 学校運営協議会（議事録）

日時 平成31年1月29日（火）

14時00分～16時00分

場所 本校 校長室

次 第

1 校長挨拶

2 配付資料の確認 等

- ① レジメ
- ② 平成30年度学校経営計画 および 学校評価
- ③ 生活基本調査（B4 ホッチキス止め）
- ④ 学校教育自己診断結果（B4 ホッチキス止め）
- ⑤ スクールカウンセラー活用状況（A4）
- ⑥ 「学校説明会」等の広報活動に関する報告（A4 表）
- ⑦ 「国際交流研修」・「集中勉強会」に関する報告（A4 裏）
- ⑧ 2学期の欠席・遅刻数（B4）
- ⑨ 第2回授業アンケートの結果報告・第1回との比較（A4）
- ⑩ 地域連携（A4 両面刷）
- ⑪ 教職員研修（A4）
- ⑫ 本校の生徒指導方針（B4 両面刷）
- ⑬ 来年度の学校運営協議委員（A4）

3 時程の確認（教頭より）

4 第1部 報告 司 会：教 頭

4-1 資料説明 ③～⑤（首席兼学校相談委員会委員長 阪口より）

③生活基本調査

- ・1年生の授業への満足度が例年と比べると低くなっている。
- ・学校生活に求めているもの（目的意識）に対する2年生のポイントが少ない。
学校に対する前向きな気持ちがやや少ないように思われる。

④学校教育自己診断結果

- ・学校に来るのが楽しいと思っている生徒は多い。

4-2 資料説明 ⑥～⑦（首席 下田より）

⑥「学校説明会」等の広報活動に関する報告

- ・学校説明会、見学会、部活動体験会のまとめ

- (1) 7月29日（日）大阪府公立高校進学フェア2019（インテックス大阪）
- (2) 8月25日（土）高槻・島本地域合同学校説明会（高槻現代劇場）
- (3) 9月15日（土）「部活動体験会」
- (4) 10月27日（土）第1回学校説明会・体験入学
- (5) 11月24日（土）第2回学校説明会・部活動体験
- (6) 12月21日（金）第1回学校見学会
- (7) 1月26日（土）第2回学校見学会

* 枚方、寝屋川方面の中学校への地道な広報活動を継続していく必要がある。

⑦「国際交流研修」・「集中勉強会」に関する報告

・「オーストラリア国際交流研修」について

訪問校：オーストラリア ニューサウスウェルズ州 マジーハイスクール

日程：平成30年7月30日（月）～8月13日（月） 14泊15日

（現地ホームステイ：10泊、シドニー市内：1泊、機内：2泊）

参加費用：約35万円（諸経費を含む概算）

参加生徒：4名（吹田東高校、福井高校と合同実施 全校参加者 計23名）

<2019年度の実施計画>吹田東高校と北摂つばさ高校と合同実施

日程：7月29日（月）～8月12日（月） 14泊15日

・「集中勉強会」について

今年度2学期より中間考査前も実施。来年度は各定期考査前の計5回実施予定。

対象：全学年の希望者で、学習活動に集中して前向きに取り組む意欲のある生徒。

内容：定期考査に向けた自学自習、本校教員・インターンシップ大学生による学習補助あり。

第1回 6月30日（土） 第2回 10月6日（土） 第3回 12月1日（土）

第4回 2月23日（土） 予定

Q：大冠の部活動に関心を持つ中学生が多いと説明があったが、部活動以外に重点を置いて広報していることはありますか？

A：部活動以外では、特色のある授業（「手作りコンサート」など）や「集中勉強会」などの学習活動について広報しています。また、「体育祭」や「文化祭」などの行事についても本校の魅力として発信しています。

4－3 資料説明 ⑧～⑫（教頭より）

⑧2学期の欠席・遅刻数

全体的に欠席数については、昨年度と比較すると減少しているが、遅刻については増加している。1年生の遅刻が2学期になって増加している。2年生では欠席、遅刻共に増加している。3年生については1年次より欠席、遅刻数については大変少ない学年である。

⑨第2回授業アンケートの結果報告・第1回との比較

・授業の最初に目標やポイントを説明するように教員へ指示している

⇒かなり浸透し、実行してもらっているようだ

・質問2「授業に積極的に参加し、取り組んでいる。」で3年生のポイントが下がっている。進路が決まった後の取り組みが課題である。

・1年は全体的にポイントが低い。生徒の取り組み姿勢も大切であるが、授業内容に興味・関心を持つことができる仕掛けづくりが必要である。

・質問9「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。」について、昨年度と同じであるが、今年度の1回目と比べると全学年とも下がっており、特に3年生の下がり方が大きい。

・生徒と教師のコミュニケーションは良好である。

⑩地域連携

部活動、委員会活動、授業など年間で50回以上の成果を上げている。

生徒と教員が協力して地域とのかかわりを大切にして取り組んでおり、大変喜ばれている。これらの実績により地域の方からの信頼を厚くしている。

（和太鼓部、吹奏楽部、家庭科部、野球部、サッカー部、男子硬式テニス部、

バトントワリング部、美化委員会、保健委員会、音楽科、家庭科、進路指導部、）

①教職員研修

教員の授業力向上を目的とし教員研修を開催。

第1回：平成30年12月5日（水）「高大接続改革を見据えた新たな学びの展望」

第2回：平成31年1月18日（金）「授業改善 『主体的・対話的で深い学び』の実現」

②本校の生徒指導方針

遅刻指導、頭髪指導、服装指導、携帯電話指導についての確認
(意見)

遅刻指導のポイント制を通して延べ人数が減ることは大切であるが、回数を増やしている一部の生徒の改善につなげることができればなお良いと思います。

4-4 H30年度 学校経営計画 評価 資料② (校長より)

本年度の取り組み内容及び自己評価について説明

1. 「確かな学力」の育成と「魅力ある授業づくり」の推進
2. 夢と志（目的意識）を持つ生徒の育成とキャリア教育の充実
3. 部活動の活性化及びクラブ員及び生徒会のリーダーシップによる生活規律の向上
4. 人権教育と教育相談機能のさらなる充実
5. 広報活動と地域連携の充実

4-5 その他【広報活動など】(校長より)

特定の分掌や教員だけでなく「チーム大冠」として学校全体で広報活動に取り組んで参りたい。

5 第2部 協議 司会：委員長（西村様）

学校運営協議委員から学校への提言

- ・英語検定の合格者数などの目標を掲示し、それに向かって取り組むのもいいのではないのでしょうか。
- ・T-NETの活用で国際交流研修の発表などの取り組みに力を入れたり、イングリッシュビレッジなどの取り組みをしても面白いのではないのでしょうか。
- ・クラブ活動による広報は確かなものになっているので、+αの取り組みとしてALTの活用を広げていくことも可能であると思います。
- ・英語教育であればスカイプ交流なども検討されてはどうでしょうか。
- ・国際交流研修などの取り組みや参加して良かった経験を情報発信することが大切である。
- ・卒業生で国際交流の場で活躍している方を通してアピールすればよいのではないのでしょうか。
- ・学校説明会を通して希望を持って入学した1年生のモチベーションが持続できるような仕掛けづくりが必要だと思います。
- ・PTA大学説明会で本校卒業生が説明してくれてとても嬉しかった。本校の説明会でも生徒を中心に開催してもよいのではないのでしょうか。
- ・学校説明会の名称を校長がおっしゃるように「オープンスクール」に名称変更してみてはどうか。言葉を換えればイメージも変わりプラスになることもあると思います。
- ・授業アンケートで数値だけでなく生徒が満足しているところが具体的にどんなことかを記述させ、それを共有すればよいのではないのでしょうか。
- ・教員研修で外部講師に講演していただくのも良いが、教員同士で工夫点や良かった点を出し合い発表するような研修をしてはどうでしょうか。このような形式の研修にすると先生方の意識も変わり、生徒の満足度につながるのではないのでしょうか。
- ・清掃指導や遅刻指導については「〇〇週間」などで徐々に取り組んでみるのも良いのではない

でしょうか。

- ・キャッチフレーズ、標語などを作ったの取組をするといいいのではないのでしょうか。
- ・せっかく行っている学校の良さを部活動以外の何かに特化して広報することも大切である。
- ・学校全体として良いところを共有することで授業ムードやスクールムードが向上していくと思います。
- ・校長のリーダーシップのもと、学校がうまく経営されているから、保護者の評価が高いのだと思います。これからも、大冠の良さをいかし、さらに”better than before “をめざしてください。

6 諸連絡 等 (15:40~16:00)

- 1) 次年度学校運営協議委員について
(来年度の学校運営協議委員) 資料⑬
- 2) その他
- 3) 挨拶 お礼の言葉 (校長より)